仕様書

IoT 推進部

１．件名

IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティに係る実証実験計画に向けた動向調査

２．目的

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第 2 期／IoT 社会に対応したサイバー・フィジカル・セキュリティ」（以下、「本プロジェクト」という）においては、セキュアな Society 5.0 の実現に向け、様々な IoT 機器を守り、社会全体の安全・安心を確立するため、IoT システム・サービス及び中小企業を含む大規模サプライチェーン全体を守ることに活用できる『サイバー・フィジカル・セキュリティ対策基盤』の開発と実証に取り組んでいる。

本調査は、研究開発成果の実用化・事業化を促進するために、研究開発成果の利用者である、サプライチェーンの各ステークホルダーを含めた実証実験を、次年度以降に効果的に行うための情報収集、実社会での実装における課題の抽出を目的とする。

このため、効果的な本研究開発成果の実証実験遂行及び普及促進に必要な、関連する領域の動向調査を行うものである。

３．内容

以下の各業務の実施においては、適宜 NEDO へ相談の上実行すること。

(1) 実証実験計画提案のための動向調査

本プロジェクトの各研究開発テーマの目的と内容及び各委託先の目標が、相互に連携しつつ、研究開発成果の実用化・事業化及び普及促進効果の見込める実証実験計画の提案に役立つ、各種動向調査を行うこと。

(2) 具体的な実証実験計画の提案

上記(1)の動向調査に基づき、本研究開発成果の利用者と想定されるステークホルダーの意見を含めた実証実験の計画を提案すること。提案に際しては、少なくとも以下に示す手法を含めつつ、効果的な実証実験計画となるよう図ること。

① NEDO 主催の会議・会合などに参加し、率先して提案内容について各委託先と協議すること。

② PD（プログラムディレクター）の戦略を具体化できる体制を構築すること。体制には戦略具体化に関してPDを補佐できる有識者等を含ませ、NEDO及びPDと共に密接に検討を重ねること。

③ 本プロジェクトが計画する「実証評価ワーキンググループ」の運営を行うこと。

(3) 実証実験の促進に係る課題の抽出と、調査結果の取りまとめ

提案した実証実験計画の効果の予測と分析に基づき、本プロジェクトに係る研究開発の実用化・事業化を、本プロジェクト終了後も継続して促進するための意見や課題を抽出し、(1)(2)の調査結果と併せて取りまとめること。

なお、「実証評価ワーキンググループ」で議論された課題・要望についても、分かりやすく整理・分析して取りまとめること。

(4) その他

NEDOからの要請があった場合は、協議の上、可能な限り反映・協力すること。

当該調査の実施により知り得た個人情報は、当該調査のためだけに利用することとし、調査終了後は適切に処分すること。

４．調査期間

NEDOが指定する日から2020年2月28日（金）まで

５．予算額

2000万円未満

６．報告書

提出期限：成果報告書　2020年2月28日（金）

提出部数：電子媒体ＣＤ－Ｒ（ＰＤＦファイル形式）　１枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_tebiki_index.html

７．報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上